

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和8年2月5日（木）

### 2 確認箇所

- ・伐採木一時保管エリアH（図1）
- ・第二土捨て場使用禁止車両保管場所（図1）

### 3 確認項目

- （1）伐採木一時保管エリアHの状況
- （2）使用禁止車両の保管状況

### 4 確認結果の概要

#### （1）伐採木一時保管エリアHの状況

東日本大震災後に福島第一原子力発電所構内の敷地造成等により発生した伐採木は、構内の伐採木一時保管エリアで保管されており、増設雑固体廃棄物焼却設備の設置以降は焼却処理のためチップ化処理が進められていることから、今回、伐採木一時保管エリアH（以下「エリアH」という。）の現況について確認した。（前回確認：[令和7年10月15日](#)）

なお、エリアHは傾斜地を挟んで東側エリアと西側エリアに分かれており、東側エリアには伐採木（幹、抜根）及び小割りされたベニヤ板等が保管されている。また、西側エリアの伐採木（木幹、抜根等）の保管は、全て解消され、エリア内は砕石敷きにより整地されていた。

#### ア 東側エリア

- ・単管パイプ等で区画されており、火災対策のため消火用タンク及び消火器が設置されていた。
- ・エリア中央での伐採木の処理が進み、空きスペースが生じており、1 m<sup>3</sup>コンテナが4段積で保管されていた。（写真1）
- ・エリア南側では、小割りされたベニヤ板等が保管されるとともに、伐採木処理用の破砕機及び把持用の重機が保管されていた。（写真2）

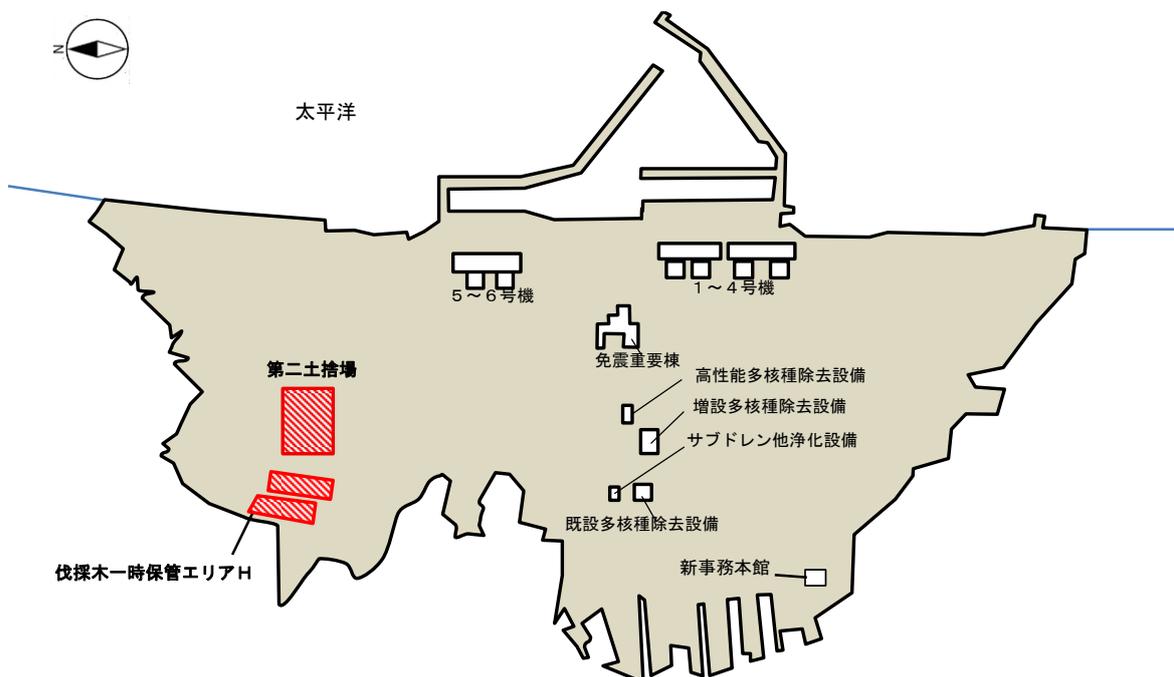
#### イ 西側エリア

- ・これまでは、単管パイプ等で区画され、火災対策として積上げ高さ5 m未満に管理できるよう高さ確認用のポールや消火器が設置されていたが、これら伐採木の保管は解消され、砕石敷による整地が行われていた。（写真3）

## (2) 使用禁止車両の保管状況

第二土捨て場使用禁止車両保管場所における車両保管の状況を確認した。(前回確認：令和7年5月13日)

- ・使用禁止車両が車種（重機、バス含む）・大小別に整然と並べられ、保管されており、保管されている使用禁止車両には、使用禁止を示す標示と燃料等の回収状況を示す一覧表が掲示されていた。(写真4)
- ・また、車両付近でシンチレーション検出器を用いて空間線量率測定を実施したところ、車両ごとに測定値は異なり、概ね $0.86 \mu\text{Sv/h} \sim 4.9 \mu\text{Sv/h}$ であった。
- ・第二土捨て場の道路側及び使用禁止車両の付近には、火災防止の措置（消火器及び静電防止用アース線設置）が講じられていた。(写真5)
- ・確認した範囲では、燃料等の滴下や油吸着凝固剤の飛散等は確認されなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
東エリア中央部の状況  
(コンテナの保管状況)



(写真2-1)  
東エリア南側の伐採木処理状況①  
(破砕機及び把持用の重機あり)



(写真2-2)  
東エリア南側の伐採木処理状況②  
(木くず破砕機の保管状況)



(写真3-1)  
西エリアの状況①  
(伐採木の保管は解消され、砕石敷  
による整地が行われていた。)



(写真3-2) 西エリアの状況②  
(積上げ高さ確認用ポール及び消火器  
は残置されていた。)



(写真3-3) 西エリアの状況③  
(エリア内北側では、土砂置場整地  
工事が実施されている。)



(写真4-1)  
使用禁止車両の保管状況



(写真4-2)  
使用禁止標示と線量率計測の状況



(写真4-3)  
燃料等の回収状況を確認する一覧表



(写真5-1)  
道路側の消火器設置の状況



(写真5-2)  
静電気防止措置（アース線設置）状況



(写真5-3)  
使用禁止車両付近の消火器設置状況

## 5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。